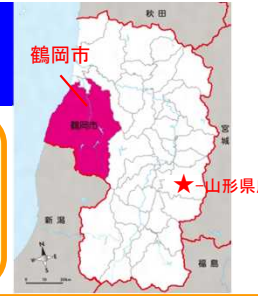


# 庄内交通株式会社・鶴岡市 (山形県鶴岡市)



庄内交通・鶴岡市が多様な分野で連携・協働し、市内循環バスの再編を実施。車両のダウンサイジング・運行の多頻度化や、きめ細かな運行ルートの設定により利便性を向上。地域に入り込んだ熱心な利用促進と相まって、利用者数は再編前と比較して約5倍に増加。

## (取組の概要)

### 1. 多様な主体の実質的参画

- 庄内交通と鶴岡市は、利用が低迷する市内循環線について、令和2年頃から再編に向けて協議。住民へのアンケート等も踏まえ、令和3年3月に「鶴岡市地域公共交通計画」を策定し、市内循環線を含む公共交通ネットワーク再編・利用促進に着手した。
- 交通部局以外の関連部局・バス沿線町内会が連携を図り※、高齢者をメインターゲットとした運行ルートを検討。(※福祉部局:高齢者が多い地域のリストアップ等、土木部局:バス停設置、除雪・積雪に係る情報提供等、商工観光部局:買物動向や観光移動に係る情報提供等、町内会:運行ルートやバス停に係る要望や提案等)
- 多様な関係者が路線再編に参画した結果、医療機関やスーパー等の生活施設、高齢者の多い住宅地を通るなどこれまでよりも利用しやすい運行ルートを実現(既存2コースの見直し・1コースの新設)。

### 2. 創意工夫

#### (1) きめ細かいバス停設置による利便性向上

- 単独世帯のうち65歳以上の住民の割合が50%以上の区域をリストアップ。同区域では各住戸～バス停の距離が約300m以内となるよう間隔を狭めてバス停を設置し(58か所⇒79か所)、利便性を向上。

#### (2) 車両のダウンサイジング

- 従前の中型バス(定員約25人)に代えて、12人乗りの小型車両を導入することで、これまで道路状況により入ることができなかった高齢者が多く居住する住宅地にも運行が可能となった。

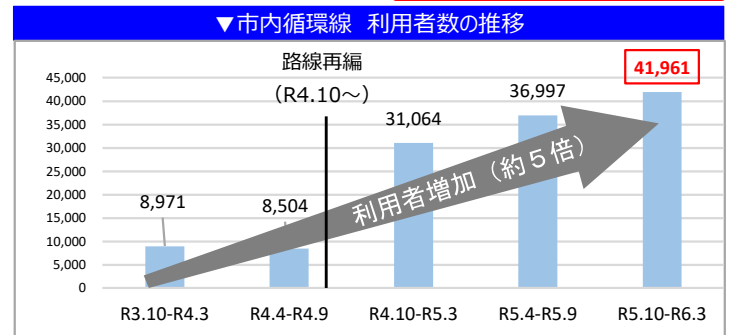
#### (3) 多様な利用促進策の実施

- 庄内交通は従来からバスの乗り方教室を開催し、市内循環線バスの案内・バスの乗車体験・ICカードのお得な利用方法の説明を実施。路線再編後も、こうした場で高齢者向け定期券(市が補助)や1日乗り放題券の販売を促進。再編に際しては、地域内全戸へのチラシ配布のほか、高齢者体操教室・町内会・学校等への訪問・説明(市関係部局と協働)など、地域の隅々にまで入り込んだ熱心な利用促進を実施。

### 3. 自立性・継続性

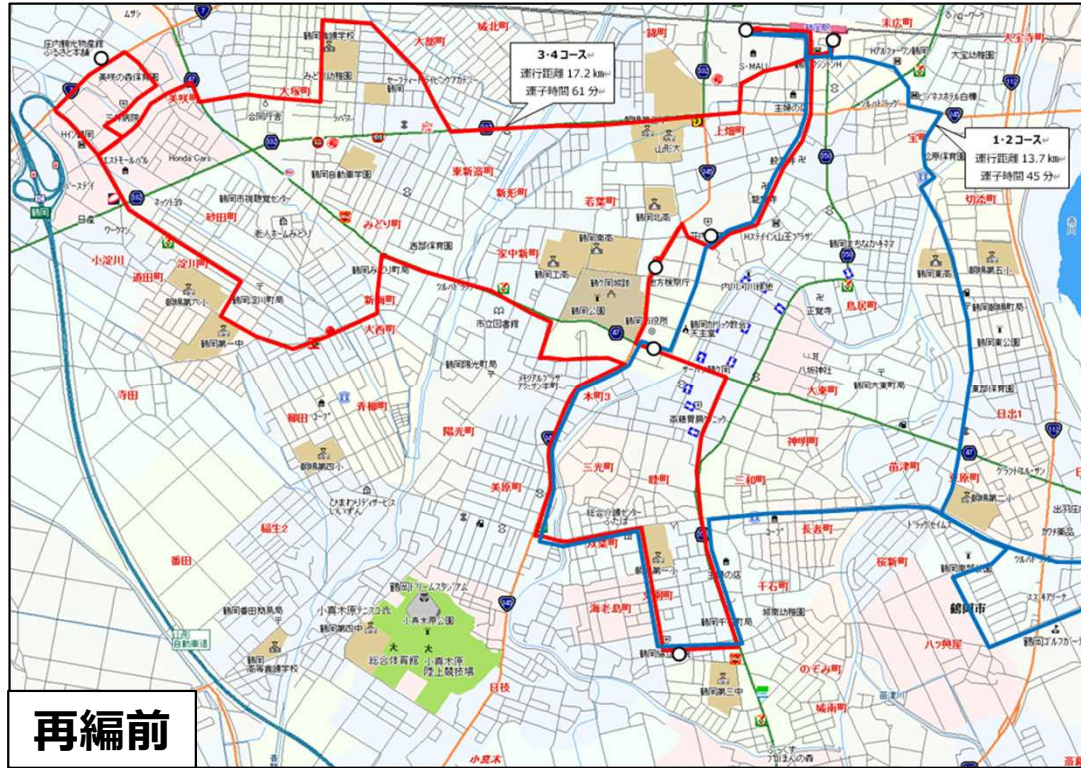
- 中型二種免許で運転可能な小型車両の導入により、女性や年配者、初任者でも運転しやすく、乗務員不足解消への寄与が期待(再編後女性2名、若年者1名採用)。市では二種免許取得支援事業を実施。
- 観光需要の取込のため、バスマップに市街地観光情報を落とし込んだ「つるおかまちあるき」MAPを作成し、広く配布するなどして地域住民の利用と観光客利用の両立を目指している。

|      | 再編前      | 再編後             |
|------|----------|-----------------|
| 車両定員 | 約25人     | 12人(ハイエースを導入)   |
| 運行便数 | 12便/日    | 48便/日           |
| バス停数 | 58ヶ所     | 79ヶ所(約300mに1ヶ所) |
| 路線数  | 2路線4系統   | 3路線6系統          |
| 運行日  | 月～金曜日    | 毎日(年末年始除く)      |
| 運賃   | 200～420円 | 一律300円          |

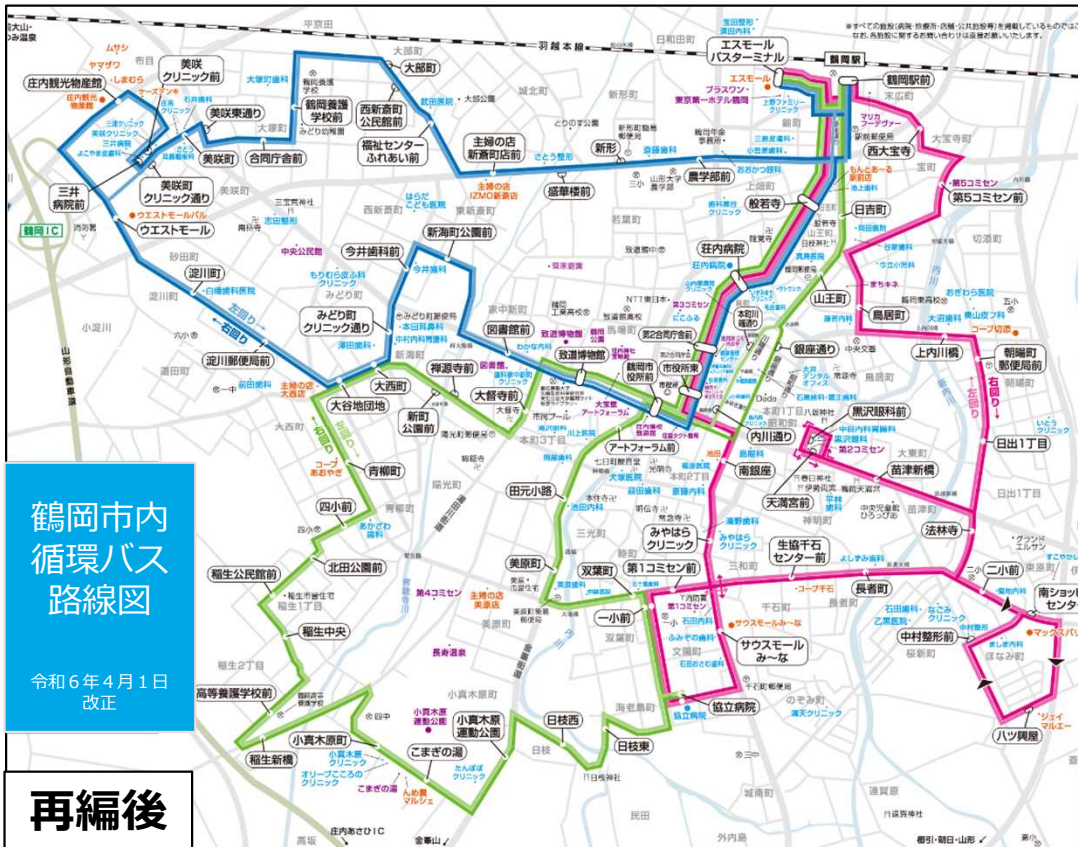


# 庄内交通株式会社・鶴岡市 (山形県鶴岡市)

## 参考：鶴岡市内循環バス 路線図



再編前



鶴岡市内  
循環バス  
路線図

令和6年4月1日  
改正

再編後

(既存の2ルートを見直し)

(新設)

|   |   |  |
|---|---|--|
| 南ショッピング<br>センター方面<br><br><b>A</b> コース<br>右回り<br>左回り | 庄内観光物産館方面<br><br><b>B</b> コース<br>右回り<br>左回り | 小真木原方面<br><br><b>C</b> コース<br>右回り<br>左回り |
|---|---|--|